

自己点検・評価での課題への対応

部局等 国際地域マネジメント研究科

自己点検・評価での課題等 (令和5年10月14日実施)	対応策・対応状況・部局長の意見等
基準番号：1 理念・目標 広報活動や頻繁な企業訪問にも関わらず、受験者数が停滞している	受験者数の増加に向けて、令和5年度には入試広報用のチラシの作成や SNS 等の活用など、新たな広報活動に取り組んでいる。それらの効果は令和6年度大学院入試の結果を踏まえ慎重に見極め、必要に応じて更なる対策を講じる。
基準番号：3 予算 今後も科学研究費補助金の獲得が主要な外部資金となるので、総合グローバル領域全体として、採択率の向上に努める。	とくに国際地域マネジメント研究科の実務家教員に対して、科学研究費補助金の申請及び獲得には背景として不利な面があるので、研究科としても学部と協力してサポートする方法を検討する。
基準番号：4 施設・設備 一部の講義室では冬季の暖房が効きづらいという問題があったと見られる。また、学生に対する意識・満足度調査の結果からは、修学および研究のうえで、図書館や ICT 環境を通じて得られる各種サービスを学生がまだ十分に利用していないことを読み取ることができる。この図書館や ICT 環境を通じて得られる各種サービスの低調な利用は課題である。	冬季の講義室の暖房については、講義室の変更も含めて対策を検討する。 また、図書館等の利用の拡大については、新入生オリエンテーション時の説明を更に詳細に行うことで改善を図る。
基準番号：5 教育 教育課程連携協議会からは、現行のカリキュラムについてバランスの取れたものとの評価を得ているが、企業を取り巻くさまざまな環境変化を踏まえて、科目の拡充や、開講時間の調整作業を伴うが他の研究科との連携も検討していく必要がある。	カリキュラムの改善については、令和5年度から新たに企業アンケートと修了生アンケート、及び修了予定者アンケートを実施する予定としており、その結果も踏まえて改善策を検討する。 また、他の研究科との連携については、第4期中期目標・中期計画の評価指標(5)-2-A となっており、年度計画に沿って取り組んでいる。
基準番号：5 教育 学生の英語力についてのチェックの仕組みを整えていくことを検討する必要がある。	在学中に英語力がどの程度伸長したかを把握できるように、学生に TOEIC の継続的な受験を推奨し、定期的にスコアの確認を行うこととする。

<p>基準番号：6 研究</p> <p>企業や自治体との共同研究、実務家教員と研究者教員との研究や学際的な研究を積極的に推進する方策を検討する必要がある。</p>	<p>科学研究費補助金の申請・獲得などと併せ、企業等と研究科、及び教員間の共同研究や研究協力を推進する方策を検討する。</p>
<p>基準番号：7 社会連携・貢献</p> <p>ホームページ、SNS などを通じて広く広報を行い、とくに本研究科の教育成果と教員や修了生の社会貢献に関する情報について、継続的な情報収集とそれを踏まえて情報発信を強化することが望まれる。</p>	<p>SNS などを用いた新たな広報活動を開始するとともに、教育内容や修了生の活躍状況等をよりわかりやすく周知するため研究科のホームページを大幅に改修している。今後は、研究科の教育成果を入試広報と併せて発信することによって研究科の地域的な認知度を高めるべく、そのための効果的な方策を模索する。</p> <p>また、令和5年度には、修了生アンケート等を新たに実施して、情報収集の拡大と継続化に着手した。</p>
<p>基準番号：8 グローバル化</p> <p>海外実地研修について学生の研修希望にある程度対応できるよう、学部・研究科一体となって海外とのコネクションを拡大していく必要がある。</p>	<p>多様な海外実地研修先の安定的・継続的な確保に繋げるための活動（窓口教員の退職等に伴う海外企業等での引継ぎ等）を継続的に実施するとともに、コネクション拡大の方策を引き続き検討する。また、新たに英語版のホームページを作成し令和5年度末に公開予定である。</p>

※記入欄は適宜追加してください。